

ぱちんこ・パチスロへの「のめり込み」問題を考える 問題解決は、「のめり込み」に対する 正しい理解から。

「リカバリーサポート・ネットワーク(RSN)」の取り組み



遊技業界が抱える課題の一つ、ぱちんこ・パチスロへの「のめり込み」については、借金や育児放棄などの様々な問題を引き起こす要因にもなっていることから、対策強化が急務とされています。

その中で、業界をあげて支援を行っているのが、特定非営利活動法人「リカバリーサポート・ネットワーク(RSN)」の活動です。

同団体では、ぱちんこ依存問題の相談窓口として、問題からの回復支援等に向けた取り組みが行われています。

このコーナーでは、よりよい遊技環境実現に向けて、ぱちんこ・パチスロへの「のめり込み」について理解を深めていきます。

特定非営利活動法人「リカバリーサポート・ネットワーク」

代表理事 西村直之氏

平成18年、ぱちんこ・パチスロへの「のめり込み」について専門的に取り組む組織として「リカバリーサポート・ネットワーク(RSN)」(以降、RSNと表記)は設立されました。

沖縄県中頭郡西原町のオフィスでは現在、3名の専門スタッフが月間約100件の電話相談に対応しています。代表理事を務める西村直之氏は、琉球大学医学部卒業後、精神科のクリニックを運営されてきた医師。これまでアルコールや薬物など依存症の症例を多数扱ってこられました。そのような経歴を持たれる西村代表ですが、RSN設立後、相談業務を行う中で非常に重要な事実気がつかれたそうです。その詳細について次の様に説明してくださいました。

「**「のめり込み」は「依存症」とは別なもの**」

「RSN設立以前、いわゆる『ギャンブル依存症』という言葉がある中で、それまで私のク

リニックには、そのような症状で来院される方は、ほとんどいらっしやいませんでした。そのため、RSNの業務を開始する際にも、それが一体どのようなものなのか正確に理解できていない状況でした。もちろん、それは他の医療現場でも同じだと思います。そもそも医学的には「ギャンブル依存症」という病名も存在していないのですから。

しかし、電話相談を開始し、本人の話聞く中で重大な事実気がつきました。

一般的に、アルコールや薬物依存の人は自分自身をコントロールすることができないという深刻な状態にあるにもかかわらず、私は大丈夫。と問題意識を持つことができません。一方で、RSNの相談者は、ぱちんこ・パチスロを止められない。自分でコントロールできない。と自分自身に問題があることを認めています。それは、アルコール・薬物依存とは全く別の種類のものであることを意味しているのです」

アルコール依存症になる人がいなくなるわけではありません。

ばちんこ・パチスロへの「のめり込み」についても同様のことがいえませぬ。低貸玉営業では、射幸心を過度にそそることがなくなる分、急速に深刻な「のめり込み」状態に陥り、問題を引き起こすということは少なくなると思われますが、全くなくなるとはありませぬ。また、遊技行為から離れられないという別のかたちの依存が増加してくることも予想されます。さらに、例えば、「のめり込み」状態に陥る確率が減少したとしても、手軽に遊べるということで遊技人口が増えれば、その分、一定数の「のめり込み」が確実に発生することになります」

業界内外において、予防策を設ける

RSNでは、「のめり込み」の問題を抱える相談者に対し、問題解決に必要な専門機関を紹介するなどの対応を行って

います。

深刻なレベルになる前に介入・対処することが重要なこの問題においては、業界内外の各分野で予防・回復のための対策を策定することが重要であると同時に、様々な関連機関同士の情報共有や協力体制の構築が必要と西村代表は訴えられました。

「ホールが店舗内でRSNのポスターを掲示し、この問題についての啓発を行っていたりしているように、遊技機メーカーにおいても『のめり込み』防止を念頭においた遊技機作りを行っていただくなど、業界内外の様々な分野で予防や回復支援のための取り組みを行うことが重要です。問題の周知から回復支援までのプロセスの中で、きめ細かな対応を行えるような体制を構築することが重要です」

謝 業界をあげての支援に感謝

そして、西村代表は次のように結ばれました。

「まったくの白紙状態から現在の体制を構築するまで、当初、私は10年かかるだろうと考えていました。しかし、全日遊連の皆様の力強い支援のもと、わずか5年でこれを実現することができました。その後、支援の輪は「パチンコ・パチスロ産業21世紀会」へと広がり、より多くの方々にご協力をいただいています。貴組合の伊豆理事長にも、RSN設立当初から、応援しています。ぜひ頑張ってください。と激励してくださり、とても心強く感じました。

これからも、多くの皆様のご期待に沿えるよう、よりレベルの高い活動を目指して運営に当たっていききたいと考えています」

「のめり込み」や「ギャンブル依存症」などの言葉が勝手に一人歩きしてしまい、現実とは異なる間違った解釈やイメージを抱く原因になることは非常に危険であり、避けなければなりません。

そのためには、業界に携わ

る者一人ひとりがこの問題について正しい知識を持ち、予防や回復に向けた取り組みを積極的に行うことが重要だと感じました。

また、その中で非常に重要な役割を果たしているRSNですが、現在、その運営は経済的にも厳しい状況にあり、より充実した活動を実現するためには、業界内外からの一層の支援が必要とされるようです。

今後、RSNを中心とした活動の輪が広がることで、過度な「のめり込み」と、それに起因する問題の解消が実現することを期待したいと思います。



沖縄県中頭郡西原町のRSN オフィス。